

科目名		看護生涯学習特論			担当教員名	平河 勝美、吉本 圭一
該当DP	3	単位数	1単位	選択	配当年次	1年次・第2セメスター(前半)
曜日・時限		水曜日・6限目			教室	オンライン授業
授業概要		看護者が生涯にわたって学習し、能力を開発し続けることを職業倫理として捉える見地から、生涯学習、省察的学習(リフレクション)、キャリアなどの基本的概念を理解するとともに、看護者の生涯学習の意義についてディスカッションを交えて考察する。また看護者のキャリア形成上の課題についても検討する。				
到達目標						
1) 生涯学習、キャリア、経験的学習、省察的学習など、基本的概念を説明できる。 2) 看護者の生涯学習と倫理、看護教育制度とリカレント型学習の関係を説明できる。 3) 自らのキャリア形成を省察的に捉えるとともに、看護者のキャリア形成上の課題とその背景を分析的に理解できる。						
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	9/17	基本的概念 (吉本)	基本的で主要な概念である「生涯学習」「職業とキャリア」「学校制度と能力開発」「経験的学習・省察的学習(リフレクション)」について概説する。			
2	9/24	看護者の学習の実際 (平河)	文献やデータを参照し、看護者の学習ニーズ、学習方法、学歴の実際を理解する。また、生涯学習を権利や倫理の観点から捉える。[ディスカッション]			○
3	10/1	看護者の学習と能力 (平河)	看護者のインフォーマルな学習について文献や身近な事例から捉え、能力開発との関係から考察する。[ディスカッション]			○
4	10/8	看護教育制度と看護者の 生涯学習(1)(平河)	看護教育制度が複線型構造に至った歴史的変遷をたどり、社会的・時代的状況と看護者の学習との関係を考察する。			
5	10/15	看護教育制度と看護者の 生涯学習(2)(平河)	現在の看護教育制度を、看護者の臨床経験と学習を関連づける機会として捉え、リカレント型学習の可能性や意義を考察する。[ディスカッション]			○
6	10/22	看護者の省察的学習 (平河)	デューイ、メジロー、ショーンの省察的学習論、ならびにベナー「看護論」の要点を踏まえながら、看護者の省察的学習について検討する。[ディスカッション]			○
7	10/29	看護者のキャリア形成と 背景(平河)	文献の情報や身近な事例をもとに、ラダーにもとづく看護キャリア形成について再考する。また、キャリアプラトリーや離職など看護キャリア形成上の課題とその背景について検討する。[ディスカッション]			○
8	11/5	総括:看護者の生涯学習 の意義(平河)	これまでの講義とディスカッションを踏まえ、看護者が生涯にわたって学習し続けることの意義を多角的に議論する。[ディスカッション]			○
キーワード		生涯学習、経験的学習、省察的学習、看護キャリア、看護教育制度			履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	『キャリアを拓く学びと教育』(吉本圭一著・科学技術出版・2020年)ほか、授業中に適宜紹介します。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①期末試験(レポート)(80%、うち吉本分20%、平河分60%)、②授業中のディスカッションへの参加状況(20%) [①は授業内容に関係しているか、明確な主張があるかなど、②は積極性や授業内容との関係性を評価します。]				
授業時間外に必要な学修		看護について理解を深めた臨床経験、大学院進学後の自分の変化などを振り返っておい てください。				
学生へのメッセージ		学習する主体として、豊かな臨床経験をもとに省察的に学んでください。平河担当回では、授業の最後にミニツツペーパー記入への協力をお願いします(次回に必要なフォローをするため。成績評価には用いません)。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。